

第70期 事業報告書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)



Business Report



SANWA SHUTTER CORPORATION

株主の皆様へ

一人ひとりの安全意識の
徹底・向上を図ります。
お客様の安全性を最優先に、
全製品の安全性能、品質の
レベルアップに取り組みます。

目次

株主の皆様へ	1
事業別の概況(連結)	3
財務諸表(連結)	5
財務諸表(単独)	7
財務ハイライト	8
WHAT'S NEW	9
株式の概況	10
コーポレートデータ	11



代表取締役社長
高山 俊隆

株主の皆様には、益々ご清祥のことと拝察申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
ここに当社第70期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)
の事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループの安全への取り組み

平成16年3月26日、当社子会社三和タジマ株式会社が六本木ヒルズ森タワーに設置いたしました自動回転ドアに、幼いお子様が挟まれ、尊い命が失われる事故が発生いたしました。改めてお子様のご冥福をお祈りし、ご両親、ご遺族の皆様にご心からお詫び申し上げます。

当社グループは、事故発生直後より自動回転ドアの営業活動を中止し、事故原因の究明、既設回転ドアの総点検を実施いたしました。関係省庁のガイドラインおよび法令等をクリアした追加安全対策、管理マニュアル類の整備など、各種の事故再発防止策の実施に全力で取り組んでまいりました。

この間、捜査が継続され、本年3月には三和タジマ株式会社の元取締役1名が在宅起訴されました。

今後は二度とこのような事態を招かぬよう、グループ全役

職員の一人ひとりの安全意識の徹底・向上、開発から設計、製造、販売、メンテナンスに至る各部門の定期的な業務プロセスの点検による安全性の強化を図ってまいります。また、お客様の安全性を最優先する方針を徹底し、全製品の安全性、品質のレベルアップに取り組み、当社グループの使命である「安全、安心、快適を提供することにより社会に貢献する」を実現することにより、信用・信頼の回復に努めてまいります。

【当社グループの安全への取り組み】

○組織体制

- ・ CSR推進室の新設
- ・ 全社品質保証委員会の機能強化

○開発面

- ・ 製品安全規格の改訂
- ・ 新製品開発における学識経験者の招聘

○製品面

- ・ 既設回転ドアの総点検実施と追加安全対策の提案
- ・ その他製品の安全対策推進と安全装置標準化の推進

○管理面

- ・ 三和タジマ株式会社の品質保証体制の強化
- ・ 重大事故対応および苦情処理に関する体制見直し

○重点活動

- ・ 安全品質点検週間の新設・実施
- ・ 「安全を誓う日」の制定

平成16年度の状況

当期のわが国経済は、輸出および民間設備投資が増加しましたが総じて緩やかな景気回復にとどまり、米国経済が内需の伸長により拡大基調を持続し、欧州経済は長引く低迷のなか、堅調な輸出主導のもと回復の兆しを強めつつ推移しました。

このような環境下、当社グループは第二次3ヵ年計画の初年度として、その基本方針をもとに各地域各々のマーケット特性を把握した戦略により諸施策を講じ、受注拡大と利益増大を図るとともに、グループを挙げて世界的な原材料価格上昇による影響を吸収すべく、生産性の向上や経営コストの削減を推進し、利益面の改善に取り組みました。

その結果、国内においては大型商業施設や流通倉庫の需要増や自然災害による需要等による売上増加と相俟って、生産性の向上、経営コストの再構築活動「CR21活動」などから増収増益となりました。

また、海外においては、米国グループ会社が好景気を背景に売上が拡大し、金融収支の改善も相俟って増収増益となりました。欧州グループ会社は、熾烈な価格競争と原材料価格高騰の煽りを受け、採算悪化の状況が継続したため、黒字は確保したものの減益となりました。

以上のような結果、連結売上高は前期に比べ20.2%増、連結当期純利益は前期に比べ30.4%増となりました。

平成17年度の見通し

当社グループの各国の地域経済は、原材料価格高騰など先行き楽観できない状況にあります。

当社グループといたしましては、既存事業の強化、防犯・防災・環境・福祉などの新規事業分野への進出およびグループ間のグローバルシナジー効果の発揮により、新たな成長軌道を確認たるものにすべく努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

事業別の概況(連結)

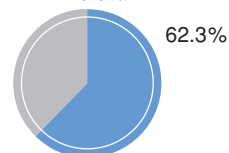
ビル商業施設建材事業

国内では、自然災害による需要増に加え、店舗・工場等向けのシャッターの伸長により増収となり、米国でも、商業用ドアおよびシャッターが販売数量を伸ばし、値上げ効果もあり増収となりました。また欧州では、依然競争が厳しいものの増収を確保し、全体の売上高は前期と比べ14.7%の増収となりました。

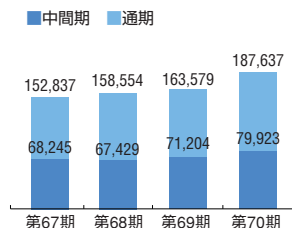
営業利益に関しては、国内では、シャッターの売上増加に伴う利益増と、CR21活動等によるコスト削減の効果により増益となりました。米国および欧州では原材料価格の高騰や価格競争の激化により減益となりましたが、全体では前期に比べ10.2%の増益となりました。

連結売上高 187,637百万円 (前期比 14.7%増)
 連結営業利益 10,470百万円 (前期比 10.2%増)

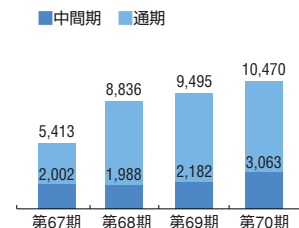
売上高構成比



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



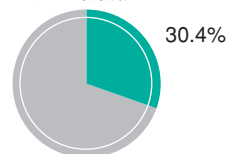
住宅建材事業

国内では、窓シャッターが堅調に推移いたしました。エクステリア製品等が伸び悩み減収となりました。一方、米国では主力の住宅用ドアおよび開閉機が増収となり、欧州についてもドイツでは、ガレージドアの電動化率の高まりと好調な輸出に後押しされ売上が伸長した他、フランスも好調に推移いたしました。以上の結果、全体の売上高は前期に比べ35.3%の増収となりました。

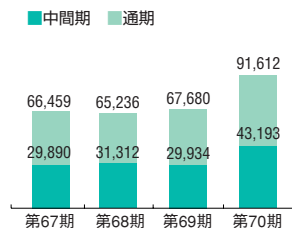
営業利益は、国内では減益となりましたが、米国、欧州では増益となり、全体では前期に比べ11.2%の増益となりました。

連結売上高 91,612百万円 (前期比 35.3%増)
 連結営業利益 4,218百万円 (前期比 11.2%増)

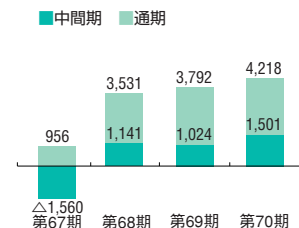
売上高構成比



売上高 (百万円)

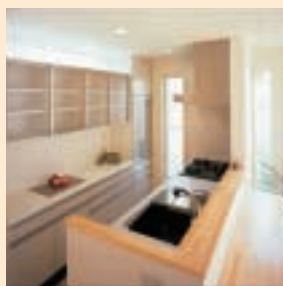


営業利益 (百万円)



メンテ・リフォーム事業

国内では、自然災害による修理等が大幅に増加し、増収増益となりました。なお本事業には、当期に欧州子会社が欧州のメンテナンスサービス会社を買収したことに伴う同社の業績も含まれており、全体での売上高は前期に比べ19.3%増収、営業利益は前期に比べ70.9%の増益となりました。

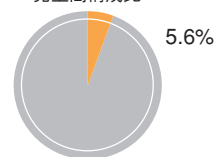


リフォーム施工例

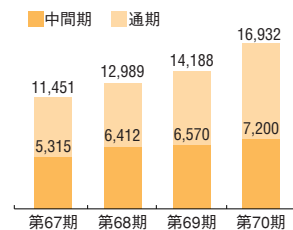


連結売上高 16,932百万円 (前期比 19.3%増)
 連結営業利益 2,165百万円 (前期比 70.9%増)

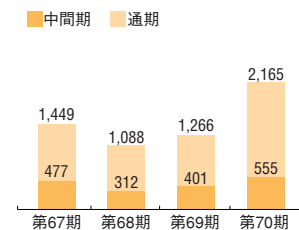
売上高構成比



売上高 (百万円)



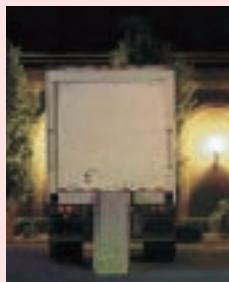
営業利益 (百万円)



その他事業

米国におけるトラック、トレーラーなどの車両用ドアが主たる事業であります。米国経済の景気拡大および業界での高いシェアを背景に、現地通貨ベースでは順調に回復しておりますが、為替の影響により売上高は前期とほぼ同額となりました。

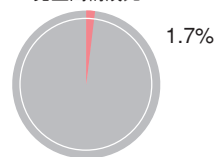
営業利益については、増収効果および不採算部門等のリストラ効果により、黒字に転換いたしました。



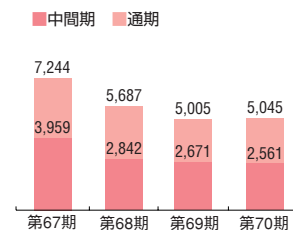
米国ODC TODOCO製車両用ドア

連結売上高 5,045百万円 (前期比 0.8%増)
 連結営業利益 364百万円 (前期 △20百万円)

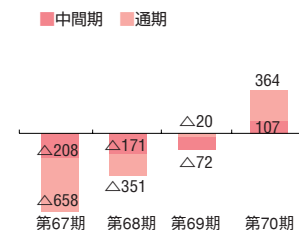
売上高構成比



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



財務諸表(連結)

連結貸借対照表の要旨 (平成17年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
資産の部		
流動資産	152,554	141,357
現金及び預金	21,813	16,926
受取手形及び売掛金	80,350	74,085
有価証券	4,484	7,709
棚卸資産	38,745	33,178
その他	8,847	11,314
貸倒引当金	△1,686	△1,857
固定資産	143,788	146,422
有形固定資産	54,223	53,473
建物	16,904	15,465
機械装置	10,947	11,518
土地	16,515	16,205
その他	9,856	10,283
無形固定資産	54,792	52,952
営業権	44,398	43,496
その他	10,394	9,455
投資その他の資産	34,772	39,995
投資有価証券	20,638	22,621
長期貸付金	4,412	4,198
長期繰延税金資産	5,243	5,272
その他	5,059	8,446
貸倒引当金	△581	△541
資産合計	296,343	287,779
負債の部		
流動負債	149,418	94,658
支払手形及び買掛金	46,840	42,484
短期借入金	16,559	14,049
1年以内に返済予定の長期借入金	8,297	3,406
1年以内に償還期限の到来する転換社債	46,627	—
コマーシャルペーパー	—	5,000
未払金	11,238	12,300
その他	19,855	17,417
固定負債	40,767	93,567
社債・転換社債	5,000	51,627
長期借入金	18,194	23,021
退職給付引当金	11,786	12,386
その他	5,786	6,532
負債合計	190,185	188,226
少数株主持分		
少数株主持分	9	—
資本の部		
資本金	22,952	22,952
資本剰余金	24,483	24,531
利益剰余金	63,777	56,521
株式等評価差額金	717	588
為替換算調整勘定	△92	384
自己株式	△5,689	△5,425
資本合計	106,149	99,553
負債、少数株主持分及び資本合計	296,343	287,779

連結貸借対照表

■流動資産

主に当社及びNovoferm GmbH (以下、NF) グループの売上債権や棚卸資産の増加により、前期と比べ111億円増加し、1,525億円になりました。

■固定資産

前期と比べて、有形・無形の固定資産は25億円増加しましたが、当社における投資有価証券の売却等により投資その他の資産が52億円減少し、固定資産合計では26億円減少の1,437億円となりました。

■流動負債

前期と比べて547億円増加し、1,494億円となりました。主な要因は、前期まで固定負債として計上していた転換社債(466億円)を償還期限が1年以内になったことにより、流動負債に計上したことによるものです。

■固定負債

前期と比べて527億円減少し、407億円となりました。これは主に前述の転換社債(466億円)の区分変更によるものです。

■資本の部

前期と比べて、主に利益剰余金の増加により、65億円増加し1,061億円となりました。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注)有形固定資産の減価償却累計額57,074百万円

連結損益計算書の要旨 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	301,228	250,453
売上原価	224,733	187,066
販売費及び一般管理費	59,277	48,853
営業利益	17,217	14,533
営業外収益	1,701	1,251
営業外費用	2,229	1,984
経常利益	16,689	13,800
特別利益	420	684
特別損失	1,041	1,105
税金等調整前当期純利益	16,069	13,379
法人税、住民税及び事業税	7,339	6,492
法人税等調整額	△570	△235
少数株主利益	9	—
当期純利益	9,291	7,122

(注) 1株当たり当期純利益42円77銭

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位：百万円)

科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,338	14,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	503	△20,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,943	11,848
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△7	△36
現金及び現金同等物の増加額	2,891	5,757
現金及び現金同等物の期首残高	20,590	14,832
現金及び現金同等物の期末残高	23,481	20,590

連結損益計算書

■売上高

当社及びODCグループが好調に推移し増収となったことと、当期より本格連結したNFグループ及びベニックス株の売上高が寄与し、前期に比べて507億円増加し、3,012億円となりました。

■利益

生産性の向上、経営コストの削減、増収効果などにより、前期に比べ営業利益は26億円増加し172億円、経常利益は28億円増加し166億円、当期純利益は21億円増加し92億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

■営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期純利益の増益の一方で、法人税等の支払額の増加、売上債権及び棚卸資産の増加等により、73億円の資金増加となりました。

■投資活動によるキャッシュ・フロー
主に固定資産の取得による支出が増加しましたが、有価証券の償還・売却等により5億円の資金増加となりました。

■財務活動によるキャッシュ・フロー
新規借入額の減少、コマーシャルペーパー発行の減少等により、49億円の資金減少となりました。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表(単独)

貸借対照表の要旨 (平成17年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
資産の部		
流動資産	104,279	98,837
固定資産	136,218	138,951
有形固定資産	30,289	30,247
無形固定資産	5,036	3,409
投資その他の資産	100,892	105,294
資産合計	240,497	237,788
負債の部		
流動負債	101,508	55,997
固定負債	24,944	72,200
負債合計	126,452	128,197
資本の部		
資本金	22,952	22,952
資本剰余金	24,483	24,531
利益剰余金	71,581	66,943
株式等評価差額金	717	588
自己株式	△5,689	△5,425
資本合計	114,044	109,591
負債及び資本合計	240,497	237,788

(注)有形固定資産の減価償却累計額35,116百万円

損益計算書の要旨 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
売上高	160,134	152,907
売上原価	117,059	111,244
販売費及び一般管理費	32,699	33,098
営業利益	10,375	8,564
営業外収益	1,734	1,247
営業外費用	742	384
経常利益	11,367	9,428
特別利益	80	373
特別損失	139	671
税引前当期純利益	11,308	9,130
法人税、住民税及び事業税	4,560	4,220
法人税等調整額	75	85
当期純利益	6,672	4,824
前期繰越利益	1,423	1,056
自己株式処分差損	91	—
中間配当額	973	986
当期末処分利益	7,031	4,894

(注)1株当たり当期純利益30円62銭

利益処分 (株主総会承認日)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成17年6月24日	平成16年6月24日
当期末処分利益	7,031	4,894
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	1,832	970
	1株につき8円50銭	1株につき4円50銭
取締役賞与金	70	—
別途積立金	3,500	2,500
次期繰越利益	1,628	1,423

(注)当期および前期において、1株につき4円50銭の中間配当を実施しました。

利益配分に関する基本方針について

当社は、安定的な配当を継続することとした従来の利益配分の基本方針を改め、今後は、企業価値増大に向けた経営を更に推進するため、安定した配当性向を維持し、連結業績に連動した利益配分を行うことを基本方針とすることにいたしました。

具体的には、連結当期純利益に対する配当性向30%を目安として利益配分を行うものであります。

これに伴い当期の利益配当金は4円の増配をし、1株につき8円50銭(中間配当金を含め年13円)とさせていただきます。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務ハイライト

連結

項目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
売上高 (百万円)	233,419	237,993	242,468	250,453	301,228
営業利益 (百万円)	3,150	7,160	13,104	14,533	17,217
経常利益 (百万円)	2,682	5,190	10,675	13,800	16,689
当期純利益又は当期純損失 (△) (百万円)	△2,665	961	△889	7,122	9,291
総資産 (百万円)	280,290	281,235	259,299	287,779	296,343
株主資本比率 (%)	37.1	38.4	37.0	34.5	35.8
1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△) (円)	△11.68	4.00	△4.22	32.54	42.77
1株当たり株主資本 (円)	456.55	476.95	438.37	461.67	492.06

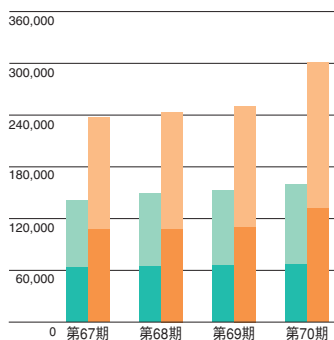
(注) 「1株当たり当期純利益又は当期純損失」および「1株当たり株主資本」は、自己株式を除いて算出しております。

単独

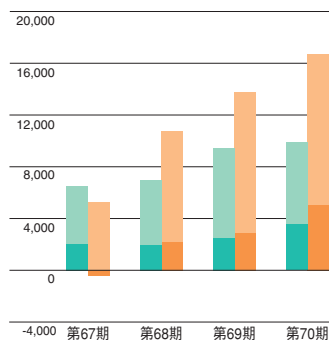
項目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
売上高 (百万円)	141,126	141,391	148,569	152,907	160,134
営業利益 (百万円)	5,056	5,936	7,277	8,564	10,375
経常利益 (百万円)	6,181	6,483	6,903	9,428	11,367
当期純利益 (百万円)	10	3,332	2,757	4,824	6,672
総資産 (百万円)	238,179	230,382	222,402	237,788	240,497
株主資本比率 (%)	45.6	46.6	46.8	46.0	47.4
1株当たり当期純利益 (円)	0.04	14.41	12.18	22.04	30.62
1株当たり株主資本 (円)	476.98	473.75	475.22	508.22	528.68
1株当たり配当金 (円)	9.00	9.00	9.00	9.00	13.00

(注) 「1株当たり当期純利益」および「1株当たり株主資本」は、自己株式を除いて算出しております。

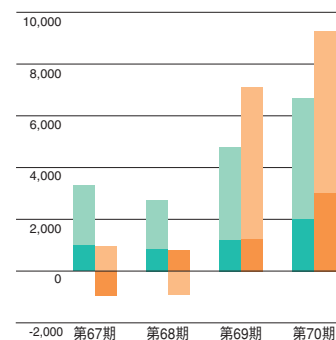
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



当期純利益 (百万円)



■ 単独中間 ■ 単独通期 ■ 連結中間 ■ 連結通期



— 当社の安全装備標準化のご紹介 —

当社は、お客様の安全性を最優先に考え、全製品の安全性、品質のレベルアップに取り組み続けます。その一環として、安全装置（危害防止機構）の標準化を推進しております。

ここでは、その一部をご紹介します。

重量電動シャッター用 シャッター急降下停止装置

開閉機の万一のチェーン切れ、チェーン外れによって起きるシャッターの急激な落下を防止し、挟まれ事故やシャッターの破損を回避します。

急降下停止装置は、従動側軸受け内部の巻取シャフトの中に取り付けるため、取まりは従来どおりです。



※大開口シャッター、高速シャッター、高頻度シャッターなどの特種シャッターには対応しておりません。
※既設シャッターには取り付けできません。



重量電動シャッター用 障害物検知装置（座板スイッチ方式）

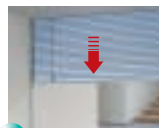
降下中に座板が障害物にあたるとシャッターが停止します。

※ただし、座板スイッチが障害物を検知して停止した場合でも、シャッター重量により人身事故や障害物の破損が起きるおそれがあります。
※シャッタータイプによっては、光電スイッチ方式が標準装備となります。

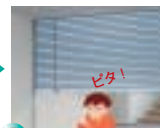


防火（防煙）シャッター用 避難時停止装置

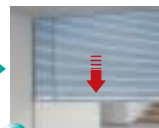
火災時に降下中のシャッターによる、人や障害物の挟まれ事故を防ぐ装置です。



1 煙（熱）感知・降下
火災時に感知器からの信号を受けると、自動復帰形自動閉鎖装置（ブレーキ開放装置）が作動し、シャッターが降下します。



2 障害物検知・停止
シャッター降下中に避難時停止装置座板が人や障害物を検知すると、ブレーキが復帰し、シャッターが一旦停止します。



3 再降下・閉鎖
障害物がなくなると、タイマーにより約10秒後にブレーキが開放され、シャッターが再降下を始め、完全に閉鎖します。

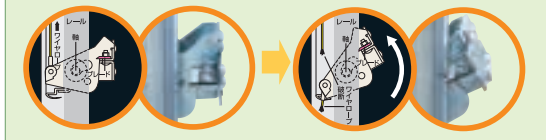
オーバースライダー用 ワイヤロープ破断 急降下停止装置

S-ブレード

製品の使用頻度が高い場合や腐食環境でお使いの場合に、劣化が早まるのが想定されます。当社は、オーバースライダーのワイヤロープが万一破断した場合に、ドアの急降下を防止する「S-ブレード」を開発し、標準装備としてご提供しています。



ワイヤロープは常に上に引っ張られていますが、ワイヤロープが破断すると、ブレードが回転してレールに食い込みます。停止しています。



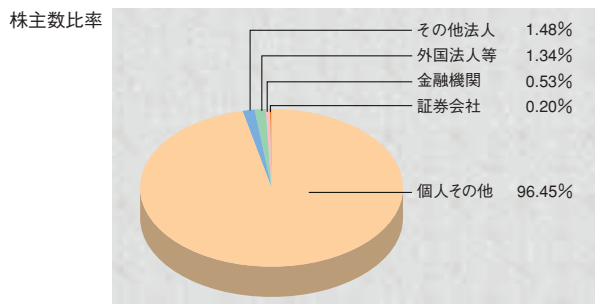
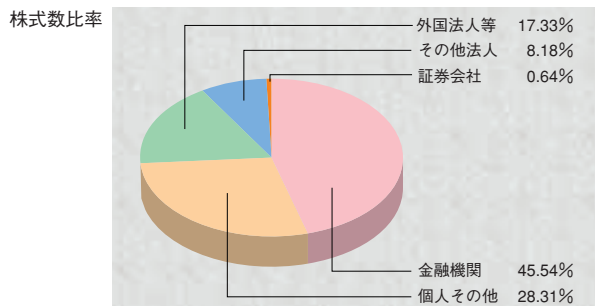
株式の概況 (平成17年3月31日現在)

- 会社が発行する株式総数 391,160,000株
- 発行済株式の総数 228,406,933株
- 株主数 13,966名
- 大株主

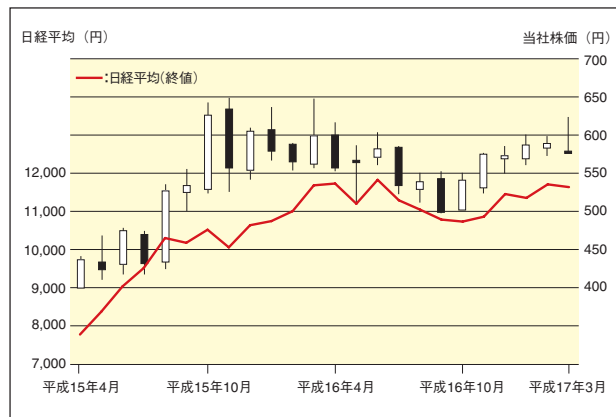
株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	16,275	7.12
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	14,886	6.51
第一生命保険相互会社	12,216	5.34
株式会社三井住友銀行	8,799	3.85
日本生命保険相互会社	8,645	3.78
ニッセイ同和損害保険株式会社	7,735	3.38
日新製鋼株式会社	6,968	3.05
UFJ信託銀行株式会社	4,637	2.03
戸 澤 キ ヨ ノ	3,713	1.62
株式会社みずほコーポレート銀行	3,270	1.43

※当社は自己株式12,826,323株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

所有者別株式分布状況



■ 株価の推移



フルタイムサービス **FTS**

24時間、365日。

年中無休、24時間応える安全システム

フリーダイヤル
0120-3030-17

各種シャッター、ドア、窓シャッター、自動ドア等の修理に、お電話一本でお客様のところへ駆けつけ、的確に対処します。定期点検、取替工事についても、お近くのメンテ・サービスセンターでご相談を承ります。

三和 リ・ホーム

ミチガエル

便利で納得の全面改装リフォームパック

フリーダイヤル
0120-1417-30

三和リ・ホームでは、プロのスタッフが現地調査からプレゼンテーション、お見積まで無料でご提供する『リフォーム無料診断』を実施し、お客様のプランや疑問についてお応えしております。ホームページからもお申込みいただけますので、お気軽にご相談ください。

会社の概要

- 創立 昭和31年4月10日
- 資本金 22,952百万円
- 従業員数 2,757人 (グループ8,593人)
- 主要な事業内容 各種シャッター、ドア、オーバーヘッドドア、住宅用窓シャッター、エクステリア製品、ステンレス製品等の製造、販売ならびに住宅リフォーム事業
- ホームページアドレス <http://www.sanwa-ss.co.jp>
ホームページで最新のトピックス、IR情報、製品ガイド等を紹介しております。決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書も掲載しております。
- お客様相談センター TEL (03)3346-3011
製品のご案内、カタログのご請求などの各種ご要望にお応えします。当社ホームページから、メールでのご質問、資料請求も承ります。
- 役員
(平成17年6月24日現在)

代表取締役社長	高山 俊隆
代表取締役	高山 浩司
代表取締役	霜村 俊夫
取締役	渡辺 静雄
取締役	高山 紘一
取締役	小畑 時彦
取締役	中屋 俊明
取締役	安田 順一
取締役	南本 保
常勤監査役	川崎 正義
常勤監査役	関 正義
監査役	田辺 克彦*

*監査役田辺克彦氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

ネットワーク

- 本社
 - 新宿
〒163-0478
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
(新宿三井ビル52階)
TEL (03)3346-3019 (代表)
 - 板橋別館
〒175-0081
東京都板橋区新河岸二丁目3番5号
TEL (03)5998-8777 (代表)
- 主な営業拠点 札幌、旭川、盛岡、仙台、宇都宮、水戸、長野、新潟、さいたま、千葉、東京、立川、横浜、静岡、金沢、名古屋、岐阜、京都、大阪、神戸、岡山、広島、高松、福岡、熊本、鹿児島
- 工場 北海道、栃木、群馬、静岡、岐阜、広島、福岡
- 主なグループ会社
 - 昭和フロント株式会社
 - 沖繩三和シャッター株式会社
 - 株式会社田島順三製作所
 - 三和タジマ株式会社
 - 三和エクステリア新潟工場株式会社
 - ベニックス株式会社
 - Sanwa USA Inc. (アメリカ)
 - Overhead Door Corporation (アメリカ)
 - Novoferm Europe Ltd. (イギリス)
 - Novoferm GmbH (ドイツ)

株主メモ	決算期 3月31日
	定時株主総会 毎年6月
	株主確定基準日 定時株主総会議決権行使株主 3月31日
	利益配当金受領株主 3月31日
	中間配当金受領株主 9月30日
	その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日
	一単元の株式数 1,000株
	名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
	同事務取扱所 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
	同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店

上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 株式会社大阪証券取引所 (証券コード5929)
公告掲載新聞	日本経済新聞 当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ http://www.sanwa-ss.co.jp に掲載しております。

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙(お届出の住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、左記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

TEL(フリーダイヤル) 0120-244-479 東京
0120-684-479 大阪

インターネットアドレス<http://www.ufjtrustbank.co.jp>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



SANWA SHUTTER CORPORATION

<http://www.sanwa-ss.co.jp>



2100

この事業報告書は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。また印刷には、VOC(揮発性有機化合物)の発生を減らす大豆インクを使用しています。